

胎児の遠隔診断システムが受賞

11月17日 06時59分



国連が定めた、SDGs = 持続可能な開発目標の達成に向けた科学技術分野の取り組みを表彰する制度で、医師が遠隔で妊婦や胎児の状態を確認できるオンライン診断システムを構築した香川大学などの取り組みが「科学技術振興機構理事長賞」を受賞しました。

この制度は、国連が教育や医療の普及などのために定めた、SDGs = 持続可能な開発目標の達成に向けて、科学技術振興機構が昨年度から設けているものです。

今年度は35件の応募のなかから、香川大学と高松市の医療機器メーカー「メロディ・インターナショナル」、それに高松市のNPO法人「e-HICK」が構築したオンライン診断システムが、「科学技術振興機構理事長賞」に選ばれました。

このシステムは、新たに開発した胎児の心拍や妊婦の陣痛を計測する小型の機器を使って、医師が遠隔で状態を診断できるもので、革新的な科学技術を活用した点や、地域の医療格差の解消に貢献しようとしている点などが評価されたということです。

開発者の1人で、香川大学瀬戸内圏研究センターの原量宏特任教授は「ずっと取り組んできたことが評価されたことはありがたい。取り組みを広く展開して安心で安全な妊娠や分娩をさらに実現していきたい」と話しています。

シェアする  

香川のニュース

香川県7人感染 新型コロナ 11月17日 5時23分

胎児の遠隔診断システムが受賞 6時59分 

鳥インフル46万羽の処分終わる 11月16日 18時26分 

鳥インフル ため池や道路を消毒 11月16日 18時26分 

知事「養鶏場検査の体制を点検」 11月16日 20時34分

三豊市長が知事に支援を要望 11月16日 18時26分 

多度津町で新酒「初しぼりの儀」 11月16日 12時22分 

全国のニュース



米モデルナ コロナワクチン「94.5%の有効性」暫定結果を発表 6時01分



バイデン氏「300万人の雇用生み出す」新産業に大規模投資へ 6時50分



米 オバマ氏回顧録「硬直化し、迷走した日本政治の象徴だ」 8時21分



野口さんら搭乗の宇宙船 きょう国際宇宙ステーションに到着へ 6時25分



電車で女性盗撮の疑い 埼玉県警の20代警察官 逮捕 8時34分



コロナで夫婦仲「改善」が「悪化」大きく上回る 大手生保調査 7時08分



輪島の伝統的な和菓子「丸柚餅子」新型コロナ影響で減産へ 8時07分

▶ 全国のニュースを見る